

# SecureDoc™ for HP

HP製デスクトップ／ノートPCを利用する企業  
向けのマネージド・データセキュリティ



SecureDoc for HPは、HP Drive Encryptionに一元管理機能を強化した拡張バージョンで、HP製品を利用しているお客様は、セキュリティ管理業務の効率が向上するとともにエンドユーザ・エクスペリエンスも改善され、ITの総所有コストを削減することができます。容易な導入展開が可能なSecureDoc for HPは、ユーザの生産性を低下させることなく、定常的なワークフローにおいて最大限のセキュリティと透過性を確保します。OPAL準拠の自己暗号化ディスクドライブ (SED)をはじめとする業界標準テクノロジーと容易に統合可能なSecureDoc for HPによって、企業はIT環境のセキュリティ対策を効率的に実施できるようになります。

セキュリティの一元的な管理とコントロールが必要なお客様には、SecureDoc for HPへのシームレスなアップグレードが最適です。10台以上のHP製デバイスを利用する環境に理想的なSecureDoc for HPは、HP Drive Encryptionからのシームレスなライセンス移行が可能で、エンドユーザへの影響も最小限に抑えることができます。SecureDoc for HPは、数万台規模のデバイス管理が可能で、多くの従業員を抱える大企業のニーズにも対応しています。

SecureDoc for HPは、暗号の一元管理、プリブートネットワーク認証 (PBConnex)、BitLockerフルディスク暗号管理、OPAL準拠SED管理、リムーバブルメディア・コンテナ暗号 (RMCE)をはじめとする数多くの先進機能を提供します。

## 主な特長

SecureDoc for HPは次のような優れた機能を提供します。

- HP Drive Encryptionからシームレスにアップグレード可能
- 有線／無線両方の環境に対応するプリブートネットワーク認証
- SecureDoc Enterprise Server (SES) Webコンソールからデバイスの暗号化を一元管理可能
- リムーバブルメディア暗号
- BitLockerの管理をサポート
- リムーバブルメディア・コンテナ暗号
- ファイル・フォルダ暗号 (FFE) \*
- モバイルデバイス管理 (MDM) \*
- FIPS 140-2認証 (AES-NI 256ビット)



## SecureDoc Enterprise Server (SES) による一元管理

SecureDoc for HPには、SecureDoc Enterprise Server (SES) も付属しています。SESは、企業のデータセキュリティ環境全体を一元管理可能にするソリューションで、定常的なワークフローにおいて最大限のセキュリティと透過性を確保することができます。SESによって企業のITプロセスが大幅に効率化され、ITの総所有コストの削減につながります。

## PBConnex – 総所有コストを削減

マネージド環境では、IT 管理者はPBConnexTMによって提供される業界最先端のプリブートネットワーク認証機能を活用可能です。PBConnexは、有線/無線両方のネットワークにおけるプリブート認証をサポートする唯一のデータ暗号化/管理ソリューションです。PBConnexでは、ネットワークベースのリソースを活用した、オペレーティングシステム起動前のユーザ認証、アクセスコントロールの実行、そしてエンドポイントデバイスの管理が可能です。

## OPAL準拠自己化暗号ディスクドライブ (SED) のサポート

OPAL準拠のSED上のデータは常に暗号化されており、アクセスには認証が要求されます。しかしながら、実際にSEDでデータ保護を有効にするにはサードパーティ製のソリューションが必要です。これこそウインマジックのSecureDoc for HPがその真価を発揮する領域です。SecureDocによって、データの保存と保護状態を完全に制御する機能が提供されるため、SEDを容易に管理できるようになります。SecureDocは、自己暗号化ディスクドライブから暗号キー情報を取得し、SecureDocソフトウェアで暗号化されたディスクドライブでサポートされている一元管理、エスクローおよび保護機能を自己暗号化ディスクドライブに対しても同様に提供します。

## リムーバブルメディア・コンテナ暗号 - RMCE

SecureDoc for HPは、従来のリムーバブルメディア暗号 (RME) に加えてRMCE機能も提供します。RMCEでは、リムーバブルUSBメモリ全体を暗号化するだけでなく、USBメモリ内に暗号化コンテナを作成することもできます。従来のリムーバブルメディア暗号ソリューションでは不可能だったこの独自の機能により、メディア全体を暗号化する必要がなくなり、容易でセキュアなデータ共有が可能になります。RMCEを活用することにより、ユーザはリムーバブルメディア上に暗号化領域を作成できると同時に、残りの非暗号化領域を別の目的で効率的に利用することが可能になります。

ソリューション	HP Drive Encryption (プリインストール済)	SecureDoc for HP (アップグレード)
ソフトウェアによるフルディスク暗号 (FDE/FVE)	✓ (FVE)	✓
マルチドライブ暗号 (外部接続)	✓	✓
RAIDディスクのサポート	✓	✓
Windows 8のリフレッシュ/リセットのサポート	✓	✓
タッチスクリーン・キーボードのサポート	✓	✓
プリブート認証	✓	✓
シングルサインオン	✓ (ワンステップログオン)	✓ (2ドメイン)
OPAL準拠SEDのサポート	✓	✓
外部ストレージの暗号化	✓ (eSATA接続)	✓
多要素認証	✓ (HP CS)	✓
OneDriveへの暗号キーのバックアップ	✓	N/A
BitLocker管理機能	✗	✓
Active Directoryとの統合	✗	✓
有線プリブートネットワーク認証*	✗	✓
無線プリブートネットワーク認証*	✗	✓
一元管理コンソール	✗	✓
Mac OS Xのサポート	✗	✓
Linuxのサポート	✗	✓
インテルATのサポート	✗	✓
リムーバブルメディア暗号	✗	✓
リムーバブルメディア・コンテナ暗号	✗	✓
暗号キーの動的なプロビジョニング	✗	✓
ファイル・フォルダ暗号*	✗	✓

\*SecureDoc for HPのオプション機能として提供されており、ご利用には追加の費用が必要になります。

